

《中央・中丁、本町地区町政懇談会》

年月日 令和7年10月1日(水)

時間 午後6時30分～午後7時45分

場所 川俣町役場庁舎3階 大会議室・農業委員会室

町民出席者数 12名

- ① 開会あいさつ：副町長（内容省略）
- ② 町長あいさつ（内容省略）
- ③ 町役場出席者紹介（保健福祉課と子育て支援課は代理で課長補佐出席）
- ④ 令和7年度町政懇談会事前質問に対する回答
- ⑤ 懇談

質問1 カンザ掘の件は県へ要望とのことだが難しいのでは？町ではないのか？

【建設水道課長】

回答1 上流からカーブのところが岩盤になっていることから、まずは下を県で固めてもらって、その後、上に遊歩道と水路をつくりたい考え。岩盤には簡単に構造物はできないので、県の力を借りようと要望しているところ。

質問2 カンザ掘自体の管理者は町では？

【建設水道課長】

回答2 下の土台の部分が大事であり、下は県、上は町でという意味。

質問3 今年の冬に川俣町のお手姫様のルーツを辿りたいという人を案内した。どのように案内するか困ったが、中央公園のお手姫像を案内した後、大清水の池（底なし沼）、機織神社を案内した。案内した方は本も出している著名なドクター。このような方も興味をもっているので、町では花塚山ばかり力を入れずに、中央公園の樹を伐採するなどお手姫様にも力を入れてほしい。

もう1つ、伝統行事であるこっこだりの話をしようと中央公民館に電話したが折り返しが無い。昔のことは今知らないと分からなくなる。

【町長】

回答3 町の観光案内をいただき感謝。外から町を見る人は悪い部分も見えらると思うが、一方で移住定住者などに聞くと町の良い部分も見えている。中央公園のお手姫像は、当時ふるさと創生事業で1億円かけて建設したもの。また、花塚山についても水車こそなくなったが、昔から着実に整備してきたものであり、里山を大事にしながらかの間発展してきた。このような部分で川俣町が良くて来られる方もいる。

【生涯学習課長】

回答3 せっかく昔の行事のことで連絡をいただいたのに折り返しできず申し訳ない。行事が忙しく申し訳なかったところであるが、今後、伝統や風習について学んでいきたい。

質問4 本日の新聞で昭和村の限界集落の記事が出ていた。川俣町は昭和村と同様織物の町であり、同じようなことが危惧される。若い女性がいらない。

【町長】

回答4 地域おこし協力隊などによる継承など考えていきたい。継続していくことが重要。歴史や文化がなくなってしまうのは困る。

質問5 側溝のふた上げの質問に対する回答をいただいたが答えになっていない。ふたが重いからやってほしいと聞いているのに、できる限りやってくれは曖昧な答え。

【町民税務課長】

回答5 側溝清掃の際、溜ますの蓋がグレーチングで固定されている場所がある。そういう場所、危険な場所はやっていただかなくてよいという意味。もし、大きな溜ますで必要な箇所があれば建設水道課による対応もあるので相談いただきたい。

質問6 町政懇談会は昨年も参加したが、昨年は本日の半分の人数だった。今年は昨年より多いかもしれないがこれでよいのか？例えば自治会側が望むのであればだが、自治会毎に細分化して行ったら？開催すればよいのではないのなら考えてほしい。

【町長】

回答6 広報誌やネット（SNS）などでもPRしているが、懇談会については、今後、希望がある自治会だけなど形態を変えることもありえる。

質問7 昨年、情報公開の関係で決算審査会の資料をみせてほしいと役場に言ったが駄目と言われた。議会が終わった後の資料を見れないということに違和感を覚えた。関連して議案は総務課で議会に提出するものと理解しているが、議案も当たり前に見える状態にしてほしい。何を審議しているか分からない。県では事前に知事が議案説明を行うのでよいと思うが。関連して、県でも閲覧可能な状態にしているが、せっきく町に図書館があるので、せめて3年分くらい議案を閲覧できる状態にしてはどうか？

もう1つ、南分署の移転の経過について教えてほしい。あわせて川俣町が造成する理由は？

【総務課長】

回答7 議案の公開、図書室への保存は、周辺自治体の調査研究を行い検討する。南分署の件だが、伊達地方消防組合は、桑折町、国見町、伊達市、川俣町で設置している。西分庁舎の設置が終わり、南分署の順番となっているが、移設先は消防本部で決めたものとなる。候補地はいくつかあったが、東分署との連携や、消防自動車の大型化などによる3,000㎡以上を候補に考えた結果、現在の場所となったところ。

なお、町で造成する理由だが、用地購入や造成については、管理者会で決めたルールにより町で造成することとなっている。なお、かかった費用は後に分担金として入ってくる。

質問8 学童の見守りは行っているのか？

【学校教育課長】

回答8 老人クラブで実施の登下校の見守りのことと思うが、自主的な活動と認識している。

質問9 蓬莱の例では、それぞれの地区で引継ぎしながら行っている。見習っては？

【学校教育課長】

回答 9 それぞれボランティアで実施いただいているもの。なお、実施にあたっては学校と協議しているが、本日そのような意見があったことは学校側にも情報共有する。

質問 1 0 南分署の移転はいつ完了、いつから供用開始か？

【総務課長】

回答 1 0 現在造成工事の発注を終えたところだが、盛り土規制法などの今までになかった手続きなどを行っている最中。ただ、予定では令和 7 年度中に造成工事が完了する予定。なお、現在、消防組合では建物の設計業務が完了し積算業務に移行しているところ。これらのことから、現段階では、令和 8 年度の早い段階で建物工事、R 9 年度に仕上げ工事→供用開始の流れ。

質問 1 1 それでは令和 1 0 年 4 月からの供用開始でよいか？

【総務課長】

回答 1 1 R 9 年度の工事の進捗で早まることもある。

質問 1 2 (きりふや薬局後ろの) 空き家の問題であるが、所有者に対しては具体的に何を話しているのか？

【建設水道課長】

回答 1 2 所有者の方へは苦情内容を伝えている。具体的には直接話しができるときは対面で、できないときは郵送などで伝えている。また、現在、解体においては補助事業がある旨も伝えている。

質問 1 3 木が大きくなってる部分もあり、近所でどこまで行えるのか分からない。また電柱にかからないか心配。

【建設水道課長】

回答 1 3 電柱にかかりそうな場合は、建設水道課に連絡いただければ、電柱の管理者である電力会社などへ伝える。なお、木の件も伝えている。

質問 1 4 邪魔な木は切ってもよいのか？

【建設水道課長】

回答 1 4 今は法律も変わり、相談次第で切れることもある。

質問 1 5 消防団について、今は団員数が少ない。

昔は地元で仕事している人、いる人が団に入っていたが、今は外に勤めている人がほとんど。会社側としては基本的に仕事を抜けられては困る訳だが、会社の協力が得られるような会社にメリットがある施策は考えられないか？例えば、法人税を安くするなどいろいろ考えてほしい。

【総務課長】

回答 1 5 今年の 4 月で消防団員は 4 9 0 人であり、定数を大きく下回っている。団員数の不足は全国的な社会的な問題だが、ご提案の法人税を安くする施策はさまざまな事業所に勤めていることから難しい部分がある。例えば町では工事関係であれば、団員がいる場合に工事点数に加点をするなどをすみ分けをすることもある。そのようなことから、現在は分団長などによる勧誘が主な取組となっているが、先進事例を調査研究していきたい。

質問 16 490人の団員のうち、勤め人は何人いるのか？

【総務課長】

回答 16 正確な数字は持ち合わせていないが、おそらく60%から65%くらい。

質問 17 そうすると今後ますます団員は不足する。何か考えないといけない。

【総務課長】

回答 17 あとは退団した人の機能別団員や役場職員20名ほどだが本団も結成している。

質問 18 再度図書室の件だが、旅行雑誌のるるぶなどを購入しているようだ。

こういう雑誌は本人が買えばよいものとする。別なものを買ったほうが有効。

【生涯学習課長】

回答 18 るるぶの購入は今始めて知ったところ。図書室は基本におはなしポケットに管理委託しており選定もお願いしているが、今後よりよい選定を行いたい。

【教育長】

回答 18 るるぶは旅行雑誌であり、確かに図書室にふさわしいかという議論もあるが、要望があれば話をするようにしている。

また、今年度からは電子図書もスタートする（学校は既にスタート。図書館はR7年12月頃からを予定）。

⑥ 閉会あいさつ：教育長（内容省略）